

ガートナー データ & アナリティクス サミット

2020年5月26日(火)・27日(水)・28日(木)
ANAインターコンチネンタルホテル東京
gartner-em.jp/data/

開催概要

会期：2020年5月26日(火)・27日(水)・28日(木)
会場：ANAインターコンチネンタルホテル東京
主催：ガートナー ジャパン株式会社

参加対象者

アナリティクス・リーダー

- ・最高アナリティクス責任者(CAO)
- ・アナリティクスおよびBIの実務責任者

データ管理責任者

- ・最高データ責任者
- ・MDMプログラム・マネージャー
- ・データ・ガバナンス責任者
- ・データ品質管理者
- ・データベース、統合、インフラストラクチャ担当マネージャー

ITリーダー／エグゼクティブ

- ・最高情報責任者(CIO)
- ・最高データ責任者(CDO)/CDAO
- ・経営企画責任者



参加料金(1名様)

早期割引価格：141,000円(税別)
2020年4月17日(金)まで

通常価格：160,000円(税別)
2020年4月18日(土)～2020年5月25日(月)まで

グループ登録特典

4for3 4名様ご登録で、うち1名様分無料になります。

7for5 7名様ご登録で、うち2名様分無料になります。

10for7 10名様ご登録で、うち3名様分無料になります。

服装規定(ドレスコード)

本サミットへは、カジュアルな服装でお越し下さい。

ガートナー データ & アナリティクス サミット

2020年5月26日(火)・27日(水)・28日(木)
ANAインターコンチネンタルホテル東京
gartner-em.jp/data/

AI活用が企業の興亡をも左右する
新時代にあわせて文化を変革せよ

お申込み方法

gartner-em.jp/data/ からお申込みください。

もしくは、貴社担当営業へお申し付けください。

- ・お申込み確認後、登録事務局より請求書を発送いたします。
- ・お支払い方法、キャンセル規定の詳細は、Webサイトにてご確認ください。

お問い合わせ先

ガートナー ジャパン株式会社 サミット登録事務局

受付時間：10:00～12:00 / 13:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

Tel：03-6430-1810 Fax：03-6430-1927

Email：Japan.Conferences@gartner.com

参加登録受付中

2020年4月17日まで早期割引価格にて
お申込みいただけます。

AI活用が企業の興亡をも左右する 新時代にあわせて文化を変革せよ

AIは私たちの日常の様々な場面へと、広くそして深く浸透しつつあります。スマートフォンのアプリや各種の家電製品といったコンシューマ向けに限らず、ビジネスで用いる各種の業務アプリケーションにおいても、自覚の有無にかかわらず多くの恩恵を受けて暮らしています。それは、想像以上のスピードで進み、私たちの仕事の在り方にまで影響を与えはじめています。そうした変化に適応できるか否かは、企業の生産性や効率性、ビジネス上の成果や競争力にも大きく関係し、やがては興亡さえも左右するものとなるでしょう。

データとアナリティクスのリーダーは、AIがもたらす新たな時代に向けて取り組みを加速させ、次々と現れる課題を解決していかなくてはなりません。その中でも重要なのが「企業文化の変革」であり、その実現のために組織をリードするリーダーシップが求められるのです。

本サミットでは、データとアナリティクスがもたらすビジネスへの影響や、それに備えた戦略を策定する手法のみならず、最新テクノロジー・トレンドや企業の文化を変革するために必要なリーダーシップなど、データとアナリティクスにまつわる様々な側面について提言します。

トピックス



データ活用から得られるビジネス成果



最高データ責任者 (CDO) に代表される
リーダーシップ



組織と果たすべき役割及び責任



データとアナリティクスのトレンド技術



データとアナリティクスに必要な
スキルの獲得と育成方法



データとアナリティクスにまつわるガバナンス



データとアナリティクスにまつわる
プライバシー



MDMを含めた全般的なデータ管理戦略



高度なアナリティクス／機械学習 (AI)



モノのインターネット (IoT)



ブロックチェーン



ガートナー基調講演

5月26日 (火)

GK1. オープニング基調講演

AIが切り開く未来に向け、組織の文化を作り変える

世界が著しく変化する状況において、企業は変化に対応するだけでなく、ディスラプションを強みに変えられるよう備えなくてはならない。未来が不確実である中、必要不可欠と断言できる唯一のものが、状況に応じたソリューションを見つけ出す創造力である。この力は、個人の持つ能力に依存したのではなく、組織に合わせたものである必要があり、そのためにはリーダーシップが求められる。



コンファレンス・チェア
一志 達也
シニア プリンシパル
アナリスト



**テッド・
フリードマン**
ディステイングイッシュト
バイスプレジデント
アナリスト



**カーリー・
アイディーン**
シニア ディレクター
アナリスト

本サミットで学べること

実用的なツールと方法論を学ぶことで:

- データと分析を活用して、すべての意志決定や判断、すべてのプロセス、すべてのアクションを最適化する
- 複雑さとあいまいさを乗り越えてビジネス価値を増大する
- 最先端のテクノロジーを用いてイノベーションを推進する
- 信頼、説明責任、ガバナンス、セキュリティ、プライバシーの基盤を構築する

記載内容は2020年3月6日現在のものです。最新の情報はWebサイトをご覧ください。


ガートナー・エキスパート

コンファレンス・チェア
一志 達也
Tatsuya Ichishi
シニア プリンシパル, アナリスト




- データ管理と活用の全般に関する製品動向調査および製品選定におけるアドバイス
- 高度な予測分析 (アナリティクス) における、インフラ、ツール、人材、組織、文化など全般に関するアドバイス
- 情報資産の管理、活用における倫理や行動規範、ガバナンスなどに関するアドバイス

アラン・ダンカン
Alan D. Duncan
バイスプレジデント
アナリスト



- データとデータ・アナリティクスのビジネス価値、資産としての情報、データの収益化
- データ主導の文化の変革、データ・リテラシ、根拠ベースの意思決定、ビジネス・トランスフォーメーション
- アナリティクスとアルゴリズム・ビジネスの組織能力の開発: アナリティクスのコミュニティ・オブ・エクセレンス、ビジネス・インテリジェンス・コンピテンシ・センター (BICC)、情報ガバナンス
- 中堅企業向けのデータ&アナリティクス戦略
- アナリティクスとデータ倫理 (情報プライバシー、データ保護、GDPRを含む)
- 人工知能

テッド・フリードマン
Ted Friedman
ディステイングイッシュト バイスプレジデント
アナリスト



- データ管理戦略/エンプライズ情報管理 (EIM)
- データ&アナリティクスのガバナンス
- モノのインターネットにおけるデータ&アナリティクスの影響
- データ・ハブ・アーキテクチャとトレンド
- データ統合 (アーキテクチャ、ベスト・プラクティス)

堀内 秀明
Hideaki Horiuchi
マネージング バイスプレジデント




- データの分析・活用に関するベスト・プラクティス
- BIシステムの構築・導入・利用に関するアドバイス

カーリー・アイディーン
Carlie J. Idoine
シニア ディレクター
アナリスト




- アナリティクスとBIソリューション
- データ管理ソリューション
- アナリティクス戦略/包括的なアナリティクス・プログラムの設計/実装/説明
- アナリティクス/データ・サイエンスの全社的ソフトウェア・ポートフォリオの評価/管理

フランク・バウテンダイク
Frank Buytendijk
ディステイングイッシュト バイスプレジデント
アナリスト




- データ&アナリティクスの戦略
- アナリティクス、BI、データ・サイエンスのソリューション
- 業界リーダーのためのデジタル・ビジネス・トランスフォーメーションの推進
- デジタル・ビジネスの構築と拡大
- デジタル倫理とデジタル社会
- 未来、未来主義、未来へのインパクト、未来研究

海老名 剛
Tsuyoshi Ebina
バイスプレジデント
アナリスト




- ITサービスに関する市場調査、および、ITサービスのソーシングに関するアドバイザリ業務
- ITサービス・ベンダーの競合状況についての分析と提言
- ソフトウェア・ライセンス/クラウド契約交渉に関するアドバイザリ業務

藤原 恒夫
Tsuneo Fujiwara
バイスプレジデント
アナリスト




- ITマネジメントとIT戦略に関するフレームワークや手法のアドバイス、デジタル化とイノベーションへの対応、パイモータルITの構築、グローバルIT管理、ITリーダーシップ、IT組織カルチャー

磯田 優一
Yuichi Isoda
シニア ディレクター
アナリスト




- セキュリティ・ガバナンス、マネジメント
- サイバーセキュリティ
- プライバシー

亦賀 忠明
Tadaaki Mataga
ディステイングイッシュト バイスプレジデント
アナリスト




- デジタル・ディスラプション
- 戦略的テクノロジー・トレンド
- 先端テクノロジー、未来志向
- AI、クラウド・コンピューティング
- メインフレーム
- 戦略、人材投資

松本 良之
Yoshi Matsumoto
バイスプレジデント
アドバイザリ




- M&A後のIT統合、ITのグローバル化、社内政治の手法、デジタルによるビジネス転換、IT戦略、デジタル戦略、CIOの役割、IT組織改革

中尾 晃政
Akimasa Nakao
プリンシパル
アナリスト




- ソーシングの動向分析
- ITサービス・ベンダーの競合分析

スベトラナ・シキユラー
Svetlana Sicular
バイスプレジデント
アナリスト




- 拡張インテリジェンス
- 人工知能 (AI)
- 機械学習 (ML)
- AIとMLのためのAIガバナンスとデータ管理
- アナリティクス、BI、データ・サイエンスのソリューション
- データ管理ソリューション

鈴木 雅喜
Masaki Suzuki
バイスプレジデント
アナリスト



- ブロックチェーンのテクノロジーと活用、デジタル・ビジネスに向けた戦略/取り組み、文書管理、コンテンツ管理、ファイル共有サービスなどファイル活用に関するトレンド分析とユーザー戦略、ストレージ技術を中心としたITインフラとクラウド戦略の立案と運用、こうしたテーマに関わる人材/組織戦略への支援・助言

 **ガートナー one-on-oneミーティングについて**

- 1回30分の個別ミーティングです。お一人様1回ご参加いただけます。
- ミーティングはトピックのご指定だけでも行えます。最適なガートナー・エキスパートとのミーティングをアレンジさせていただきます。
- ミーティングの時間枠は限られていますので早めのご予約をお勧めいたします。


お申込み方法 貴社担当営業へお申し付けください。4月中旬よりConference Navigatorからもお申込みいただけます。

アダム・ロンサール
Adam M. Ronthal
シニア ディレクター
アナリスト




- DBMSプラットフォームとインフラストラクチャの選定
- dbPaaSとクラウドのプラクティスとテクノロジー
- 論理データウェアハウス
- アナリティクスのためのデータ管理ソリューション
- クラウド・コンピューティング
- データ&アナリティクスの戦略

サリー・パーカー
Sally Parker
シニア ディレクター
アナリスト



- データ主導の文化
- データ&アナリティクス戦略への賛同の確保
- 情報ガバナンスの基礎と未来
- マスター・データ管理 (MDM): 戦略、落とし穴、アプローチ
- アナリティクス、BI、データ・サイエンスのソリューション

ジュリアン・サン
Julian Sun
ディレクター
アナリスト



- アナリティクスとデータ・サイエンスにおける主要トレンドを活用する方法
- 近代的なビジネス・インテリジェンス・プラットフォームを評価し、適切に選定する方法
- BI戦略/プログラムを策定し、その効果を向上させ、ビジネス・インテリジェンスとアナリティクスの成熟度を高める方法
- ビジネス価値をもたらすアナリティクス戦略を策定する方法
- アナリティクス・イニシアティブのための組織モデルを構築する方法

アンドリュー・ホワイト
Andrew White
ディステイングイッシュト バイスプレジデント
アナリスト



- 最高データ責任者 (CDO) の役割、スキル、職務範囲
- ビジネスに関係するデータ&アナリティクス戦略や運営モデルの策定方法
- ビジネスに関係する情報ガバナンスやMDMプログラムを成功させる方法
- MDM、情報スチュワードシップのテクノロジー選定
- データ&アナリティクスのガバナンスを持続させる方法

各エキスパートのプロフィールはWebサイトをご覧ください。



ガートナー CDO サークル

ガートナー CDOサークルは、データ&アナリティクス業務を担うリーダーのための特別プログラムです。企業のデータ&アナリティクス業務責任者としてのリーダーシップ・スキル向上や高度なビジネス目標を達成するためのベスト・プラクティス共有の機会を提供いたします。

CDOサークルメンバー該当条件: CDOもしくはCDOに相当するデータ&アナリティクス業務責任者
CDO (Chief Data Officer) は、企業や組織における、データとアナリティクスの最高執行責任者です。データとアナリティクスに関する取り組みについて、予算執行や収益に責任を持ち、人事権を行使して組織を編成します。CDOサークルへのご参加は、業種や組織の規模、役職名は問いませんが、責任と権限の範囲がCDOと同様である方に限らせていただいております。

※ITベンダー企業については、社内向けのデータ&アナリティクス業務における最高責任者若しくは予算の意思決定者に限ります。

お申込み方法: 貴社担当営業へお申し付けください。

※参加基準を満たさない場合は、CDOサークルメンバーとして登録されない場合がございます。予めご了承ください。

参加特典:

1. メンバー限定のCDOCラウンドテーブルにご参加いただけます。
詳細はタイムテーブル(P8-P9)とセッション概要(P10-P15)をご覧ください。
※参加できるCDOCラウンドテーブルは、原則お一人様1セッションになります。
2. 専用ラウンジをご利用いただけます。
ご休憩やメンバー同士の情報交換やネットワーク作りをしていただくためのスペースです。

お客様の課題解決にガートナー サミットのコンテンツをフルにご活用ください

専門セッション



ガートナー・エキスパートが、それぞれの専門分野に特化したプレゼンテーションを提供します。

ゲスト基調講演／パネルディスカッション／事例紹介



異なる業種・業界の方々から先進事例や自社の取り組みを紹介いただけます。

エキスパートとのディスカッション



ガートナー one-on-oneミーティング
お客様の課題に対して、エキスパートがお答えする[1対1]型の個別ミーティングです。



Ask the Expert
参加者とエキスパートによるQ&Aセッションです。トピックに関する様々な質問にエキスパートが直接回答します。



ワークショップ
特定のテーマで演習やディスカッションを行います。



ラウンドテーブル
エキスパートがモデレーターを務め、特定のテーマについて参加者同士で意見交換を行うセッションです。

先進テクノロジーとソリューション

ソリューション・プロバイダー・セッション

ソリューション・プロバイダーが、デジタル・ビジネス変革を実現するための具体的な方策や、ソリューションをプレゼンテーションします。

ソリューション・プロバイダー・ミーティング

各ソリューションの専門家、テクノロジー・スペシャリストとの個別ミーティングです。

展示会

サミット会場で貴社の課題を解決するベスト・ソリューションをご覧ください。

トラック

A データ・サイエンス、機械学習、AI (アナリティクスの普及)

データ・サイエンス、機械学習、およびAIをビジネス(業務)に適用することは容易ではありません。しかし、その戦略と技術に対する理解を深めることは、ビジネス価値を高め、企業の競争力を強化するために不可欠です。本トラックでは、高度なデータとアナリティクスがもたらす、ビジネスへの影響に注目します。テクノロジーのトレンド、組織に求められる要件、人材の採用などを考慮しながら、ビジネス価値を高めるためのベスト・プラクティスについて議論します。

B 発展するテクノロジー

データとアナリティクスにまつわるテクノロジーは、引き続き急速な発展を続けており、市場には新たなテクノロジーやサービスが溢れています。本トラックでは、そうしたテクノロジーのトレンド、今後の動向を考察します。さらに、それによって組織が受ける影響、新たに現れる課題、それらにどうアプローチすればよいのかを議論します。

C 戦略とビジネス成果

データとアナリティクスを戦略的に利用することは、組織の競争力の強化に重要であるだけでなく、多くの場合は存続をも左右します。適切な評価指標を定め、それに基づいた成功事例を作り出し、ベストプラクティスを共有して、投資の妥当性を他のビジネス・リーダーに説明しなくてはなりません。本トラックでは、データとアナリティクスに対する投資を最適化し、優先順位を適切に導き出す方法、さらには成功を遂げるための戦略策定について議論します。

D リーダーシップと文化

データとアナリティクスの取り組みを成功へと導くためには、ビジネス部門との協業が不可欠ですが、組織の文化が最大の障壁となっています。リーダーには、その障壁を乗り越えるための能力として、組織内のすべての人とビジョンを共有し、理解を得られることが求められています。本トラックでは、最高データ責任者(CDO)などのリーダーが、組織において文化の壁を乗り越えるために、何を行うべきかを議論します。

E 信頼とガバナンス

信頼とガバナンスを抜きにして、強固なデータとアナリティクスの戦略を形作ることはできません。あらゆる形態のアナリティクス、特にAIが組織に浸透するにつれて、信頼を担保しながら俊敏性も備えるデータのガバナンス、プロセス、フレームワークが求められるようになっていきます。そしてそれは、データとアナリティクスのリーダーが成功を収めるためにも、不可欠なものです。本トラックでは、データ品質、カタログ、マスタ・データ管理などの要素を織り交ぜながら、データのガバナンスと信頼について議論します。



フランク・パウデンダイク
ディステイングイッシュトバイスプレジデント、アナリスト



一志 達也
シニアプリンシパル、アナリスト

タイムテーブル

5月26日(火)

9:00 - 10:00	 GK1. オープニング基調講演 AIが切り開く未来に向け、組織の文化を作り変える 一志 達也 / テッド・フリードマン / カーリー・アイディーン
10:15 - 11:15	 GU1. ゲスト基調講演 近日公開
11:30 - 12:15	 ランチョン・セッション
12:15 - 12:45	 Exhibit Showcase Hour 展示エリアにて各社ブース最先端のテクノロジーをご体験ください。
12:45 - 13:30	 11A. 近代的なデータ/アナリティクス戦略の基礎 フランク・パウテンダイク
	 11B. 人工知能の誤解と盲点 - どう舵取りすればよいのか スベトラーナ・シキユラー
	 11C. データ管理にかかるクラウド支出の最適化と コントロール アダム・ロンサール
	 11D. データとアナリティクスのリーダーは、 どうすれば関係者と良好な関係を築けるのか 一志 達也
13:45 - 14:30	 ソリューション・プロバイダー・セッション
14:45 - 15:30	 13A. データ主導型の基礎: データ・リテラシと 「第二言語としての情報」の入門 アラン・ダンカン
	 13B. 新たなマインドセットを定着させる 亦賀 忠明
	 13C. ブロックチェーンの未来: 今、日本企業が備えるべきことは何か 鈴木 雅喜
14:45 - 15:45	CDOC1. [CDOCラウンドテーブル] CEOはなぜデータ・ドリブン経営の話聞かないのか 松本 良之 CDOサークル
15:45 - 16:30	 ソリューション・プロバイダー・セッション
16:30 - 17:20	 Exhibit Showcase Hour Exhibit Showcase (展示) エリアで最先端のテクノロジーをご体験ください。 20分間の下記オープンシアター・セッションも実施します。 OT11. データ管理のマジック・クアドラント アダム・ロンサール
17:05 - 18:05	CDOC2. [CDOCラウンドテーブル] ストーリーテリングを通して成功の秘訣を ステークホルダーと共有する アラン・ダンカン CDOサークル
17:20 - 18:05	 15A. ビジネスを変革するデータ/アナリティクスの テクノロジーにおけるトップ・トレンド ジュリアン・サン
	 15B. マスタ・データ管理の基礎と未来 サリー・パーカー
	 15C. ソフトウェア・メガベンダーとの契約に備える 海老名 剛
	 15D. データ活用を推進する上でどのような役割を強化 すべきか 堀内 秀明

5月27日(水)

8:30 - 9:00 朝食付	 21A. データの収益化: データのビジネス価値を示した 業界事例 アラン・ダンカン
	 21B. 国内BI市場のトレンド解説 堀内 秀明
	 21C. ビジネスモデル・イノベーションのマインドセット を醸成する 藤原 恒夫
9:15 - 10:00	 ソリューション・プロバイダー・セッション
10:15 - 11:00	 GU2. ゲスト基調講演 近日公開
11:15 - 12:00	 23A. データ・サイエンスと機械学習の未来: 無視するわけにいかない重大トレンド スベトラーナ・シキユラー
	 23B. アナリティクス/BI、データ・サイエンス、MLの マジック・クアドラント ジュリアン・サン
	 23C. マルチクラウドやインタークラウドにおける データ管理 - 必然を受け入れる アダム・ロンサール
	 23D. [Ask the Expert] これからのアプリケーション・ソフトウェア契約を どう交渉すべきか 海老名 剛
12:15 - 13:00	 ランチョン・セッション
13:00 - 13:30	 Exhibit Showcase Hour Exhibit Showcase (展示) エリアで最先端のテクノロジーをご体験ください。 20分間の下記オープンシアター・セッションも実施します。 OT21. BIはどこから来てどこへ向かうのか 堀内 秀明
13:30 - 14:15	 24A. [事例紹介] 近日公開
	 24B. [事例紹介] 近日公開
	 24C. [事例紹介] 近日公開
14:30 - 15:15	 ソリューション・プロバイダー・セッション
15:15 - 16:05	 Exhibit Showcase Hour Exhibit Showcase (展示) エリアで最先端のテクノロジーをご体験ください。 20分間の下記オープンシアター・セッションも実施します。 OT22. アナリティクス・エコノミー: アナリティクスの 価値を高める経済システム ジュリアン・サン
16:05 - 16:50	 26A. AIによる成果の実現に向けて、カルチャー・ハック によりIT部門とビジネス部門の溝を解消する アラン・ダンカン
	 26B. 大きく考え、小さく始める: マスタ・データ管理に 備える サリー・パーカー
	 26C. 定義の難しいデータやアナリティクスに対応する ガバナンス・プラットフォームは売られていない アンドリュー・ホホワイト
	 26D. CEOはなぜデジタルを推進するのか 松本 良之
16:05 - 17:05	 26E. [ラウンドテーブル] 機械学習のための組織づくりにおける ベスト・プラクティスとは スベトラーナ・シキユラー

5月27日(水)






17:05 - 17:35	 ソリューション・プロバイダー・セッション
17:05 - 18:35	 28WS. [ワークショップ] データを成果に結び付けるには アンドリュー・ホホワイト
17:50 - 18:35	 28A. 拡張データ・サイエンス/機械学習を実装する: 4つの実例 カーリー・アイディーン
	 28B. データとアナリティクスの未来はクラウドにあり アダム・ロンサール
	 28C. データとアナリティクスのガバナンスにまつわる 基礎と未来 テッド・フリードマン
	 28D. データ・アナリティクスからデジタル・イノベー ションをリードする - 南アフリカの事例を踏まえて 藤原 恒夫
18:50 - 20:35	 ポップコーン・ナイト 映画上映予定

セッションタイプ


	基調講演
	ソリューション・プロバイダーによるセッション
	事例紹介
	ラウンドテーブル 特定のテーマについて参加者同士で意見交換を行うセッション 参加対象: ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方
	Ask the Expert 参加者とガートナー・エキスパートによるQ&Aセッション 参加対象: ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方
	ワークショップ 少人数のグループで演習を行っていただきます。 参加対象: ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方

CDOサークル CDOサークルメンバー限定ラウンドテーブル

トラック

	データ・サイエンス、機械学習、AI(アナリティクスの普及)
	発展するテクノロジー
	戦略とビジネス成果
	リーダーシップと文化
	信頼とガバナンス

5月28日(木)

 日英同時通訳付

8:30 - 9:00 朝食付	 31A. データとアナリティクスでアプリケーション機能を 強化せよ - 一志 達也
	 31B. AIのリーダー、データ・サイエンティスト、機械学習エン 지니어のためのストーリーテリング スベトラーナ・シキユラー
	 31C. データ管理に向けたブロックチェーン: 「未成熟なデータベース」を使いこなすには 鈴木 雅喜
9:15 - 10:00	 GU3. ゲスト基調講演 近日公開
10:15 - 10:45	 ソリューション・プロバイダー・セッション
11:00 - 11:45	 33A. 効果的なデータ/アナリティクスのオペレーショ ン・モデルの基礎 フランク・パウテンダイク
	 33B. 制御しようとするな: 昔ながらのデータ管理の 限界を打ち破る方法 テッド・フリードマン
	 33C. データ・ハブ戦略を採用して、データ/アナリティ クスのガバナンスと統合を一元化する アンドリュー・ホホワイト
	 33D. クラウドを使ってアナリティクスの均衡点を 見つけよ ジュリアン・サン
	 33E. [Ask the Expert]「個」の能力の獲得に向けて、 新たなソーシング・オプションを活用できるか 中尾 晃政
12:00 - 12:45	 ランチョン・セッション
13:00 - 13:45	 ソリューション・プロバイダー・セッション
14:00 - 14:45	 35A. 未来のアナリティクスとBI: Augmented Consumer (強化された顧客) とは ジュリアン・サン
	 35B. 個人情報保護を巡る新たな局面: 企業はいかに対応すべきか 磯田 優一
	 35C. インフォミクスを適用してビジネス価値を 向上させる アラン・ダンカン
	 35D. データ管理インフラストラクチャの将来を担う クラウド - 一志 達也
14:00 - 15:00	CDOC3. [CDOCラウンドテーブル] 7つのデジタル・ リーダーシップ・スキルを日本でどう実践するのか 藤原 恒夫 CDOサークル
14:45 - 15:35	 Exhibit Showcase Hour Exhibit Showcase (展示) エリアで最先端のテクノロジーをご体験ください。 20分間の下記オープンシアター・セッションも実施します。 OT31. AIの倫理: 最も基本的な5つのガイドライン フランク・パウテンダイク
15:35 - 16:05	 ソリューション・プロバイダー・セッション
16:20 - 17:05	 37A. 拡張アナリティクスとMLOps: 来るべき課題と機会 カーリー・アイディーン
	 37B. マスタ・データ管理をクラウド化するタイミングは、 今なのか サリー・パーカー
	 37C. 「個」の能力の獲得: 新たなソーシング・オプ ションの可能性 中尾 晃政
17:20 - 18:50	 37D. CIOが全社のデジタル啓発活動を推進する方法 松本 良之
	 GU4. パネルディスカッション モデレーター: 一志 達也 (ガートナー)

記載内容は2020年3月6日現在のものです。最新の情報はWebサイトをご覧ください。

1日目：5月26日(火)

CDOC2

【CDOCラウンドテーブル】**CDOサークル** ストーリーテリングを通して成功の秘訣をステークホルダーと共有する *バイスプレジデント, アナリスト アラン・ダンカン*

ストーリーテリングは、「ビジネス価値」と「データ主導の文化」という2つのテーマを、共通の土台で結び付ける。本ラウンドテーブルでは、以下について解説し、ストーリーテリングで成功する秘訣を参加者同士で共有する。

- ステークホルダーを巻き込んで関係を構築し、共感を生み出せるストーリーを語るには
- テクノロジーに関する複雑なコミュニケーションを効果的に簡素化するストーリーを組み立てるには
- 世界的なベスト・ストーリーテラーの多くが使う、単純な3段階のストーリーテリング・アプローチを活用するには
- 聞き手のペルソナの視点を強調することでコミュニケーションの焦点を絞り、より良いストーリーを語って、より良い成果を生み出すには

【参加対象】CDOサークルメンバー (参加できるCDOCラウンドテーブルは、原則お一人様1セッションになります。)

15A

ビジネスを変革するデータ／アナリティクスのテクノロジーにおけるトップ・トレンド *ディレクター, アナリスト ジュリアン・サン*

データとアナリティクスに目まぐるしい変化をもたらしているのは、人工知能だけではない。次世代の拡張アナリティクス・ツールから、モノのインターネット (IoT)、データを解釈して継続的なインテリジェンスを得られる直観的なインタフェースに至るまで、アナリティクスを導入する方法や対象にも急速な進展が見られる。このような変化がビジネスにもたらす影響を理解することで、デジタル・ビジネスを推進するイノベーションに優先順位を付けて取り組むことができる。

15B

マスタ・データ管理の基礎と未来 *シニア ディレクター, アナリスト サリー・パーカー*

本セッションでは、マスタ・データ管理 (MDM) の基礎的な概念を、以下のトピックに基づいて解説する。

- マスタ・データとは何か。また、なぜ重要なのか
- そのビジネス・メリットは何か
- 成功するMDMプログラムの規律とテクノロジー・コンポーネントは何か。また、MDMの今後のトレンドはどのようなものか

15C

ソフトウェア・メガベンダーとの契約に備える *バイスプレジデント, アナリスト 海老名 剛*

IT調達リーダーや交渉担当者は、SAP、Microsoft、Oracle、IBMといった大手ソフトウェア・ベンダーとの効果的な契約交渉に苦慮することが多い。

本セッションでは、「最適なライセンス体系」「最適化された価格設定」「リスクを最小化するための契約」といった観点からベスト・プラクティス、戦略、ヒント、戦術について解説する。

13A

データ主導型の基礎：データ・リテラシと「第二言語としての情報」の入門 *バイスプレジデント, アナリスト アラン・ダンカン*

データの浸透力がますます強まる中、すべての従業員が「データを語れる」ことが強く求められている。本セッションでは、データとアナリティクスのリーダーを対象に、データ主導型のビジネスを実現する鍵としてデータ・リテラシ・プログラムを始動するための基本を解説し、以下の事柄について説明する。

- データ・リテラシ意識の向上を訴え、変化の必要性を明確に主張するには
- データ・リテラシの価値提案をパイロット・テストするには
- 他のエグゼクティブと連携してデータ・リテラシ・プログラムを統率し、データ主導型の文化を共創するには

13B

新たなマインドセットを定着させる *ディステイングイッシュト バイスプレジデント, アナリスト 亦賀 忠明*

ここ数年、多くの企業がデジタルやモード2関連の実践を進めているが、そのほとんどはPOC止まりであるか、それほどの成果を出せていない。この最大の要因は、従来の考え方ややり方を変えないことである。こうしたテーマでは「頭では分かっているが体が動かない」という状態に陥りかねないため、何度も聞いて思考の定着を図ることが重要である。本セッションでは、新しい時代に対応するためのマインドセット (考え方) について整理し、企業へのアドバイスを行う。

13C

ブロックチェーンの未来：今、日本企業が備えるべきことは何か *バイスプレジデント, アナリスト 鈴木 雅喜*

ブロックチェーンがもたらす真のインパクトとは何か。テクノロジーとビジネスの狭間で起こるであろう社会的革新を予見し、自社を取り巻く未来に向けて先手を打っておくことの重要性が今、高まっている。本セッションでは、ブロックチェーンのトレンドを踏まえ、日本企業のイノベーション・リーダーが現時点で備えるべきことについて述べる。

CDOC1

【CDOCラウンドテーブル】**CDOサークル** CEOはなぜデータ・ドリブン経営の話をつ聞かないのか *バイスプレジデント, アドバイザリ 松本 良之*

データ・ドリブン経営を推進するためには、CEOの理解が必要不可欠である。しかし、データ戦略やデータ活用を提案してもCEOに受け入れられず、取り組みが頓挫した例も散見される。本セッションでは、グローバル企業における経営経験の豊富なエキスパートが、CEOとITリーダーの視点の違いに触れながら参加者の疑問に回答する。

【参加対象】CDOサークルメンバー (参加できるCDOCラウンドテーブルは、原則お一人様1セッションになります。)

セッション概要

1日目：5月26日(火)

GK1

オープニング基調講演：AIが切り開く未来に向け、組織の文化を作り変える *シニア プリンシパル, アナリスト 一志 達也* *ディステイングイッシュト バイスプレジデント, アナリスト テッド・フリードマン* *シニア ディレクター , アナリスト カーリー・アイディーン*

世界が著しく変化する状況において、企業は変化に対応するだけでなく、ディスラプションを強みに変えられるよう備えなくてはならない。未来が不確実である中、必要不可欠と断言できる唯一のものが、状況に応じたソリューションを見つけ出す創造力である。この力は、個人の持つ能力に依存したのではなく、組織に合わせたものである必要があり、そのためにはリーダーシップが求められる。

11A

近代的なデータ／アナリティクス戦略の基礎 *ディステイングイッシュト バイスプレジデント, アナリスト フランク・パウテンダイク*

「データとアナリティクスの戦略はどうあるべきか」という質問が、ガートナーには多く寄せられている。その理由は、データとアナリティクスの役割が変わりつつあるためである。データとアナリティクスは、1つの専門分野から、広範なデジタル戦略や変革をもサポートする一連のケイパビリティに変わろうとしている。本セッションでは、数百件のドキュメント・レビューおよび数千件の問い合わせの中から明らかになったベスト・プラクティスを紹介する。

11B

人工知能の誤解と盲点 ― どう舵取りすればよいのか *バイスプレジデント, アナリスト スベトラーナ・シキユラー*

本セッションでは、AI (特に機械学習) にまつわるさまざまな誤解と盲点のトップ10のほか、これらを解決するためのベスト・プラクティス (舵取りの方法) について解説する。

11C

データ管理にかかるクラウド支出の最適化とコントロール *シニア ディレクター, アナリスト アダム・ロンサール*

データとアナリティクスのリーダーは、クラウド・ベースのデータ管理ソリューションに予想外のコストがかかり、驚かされることが多い。クラウドというデータ管理環境の予算を適切に編成するには、事前の対策のみならず、事後の対策やプロダクト固有の対策を組み合わせ、包括的に取り組まなくてはならない。本セッションでは、特定のワークロードに最適なクラウド・プライシング・モデルの選択を含め、財務ガバナンスのアプローチを解説する。

11D

データとアナリティクスのリーダーは、どうすれば関係者と良好な関係を築けるのか *シニア プリンシパル, アナリスト 一志 達也*

CDOのようなデータとアナリティクスのリーダーにとって、関係者に受け入れられ、価値を認められることが継続的なチャレンジとなっている。変化を嫌う抵抗勢力、数々の反対意見や無関心に立ち向かうには、ビジョンや戦略を売り込むだけでなく、ビジネス成果を測れるようにしなければならぬ。それでは、どうやってビジネスにもたらすメリットを明確にし、成果に結び付いていると証明するのか。本セッションでは、そうした課題を克服しながら、時に実験的となる挑戦に関する合意を得る方法を考える。

15D

データ活用を推進する上でどのような役割を強化すべきか *マネージング バイスプレジデント 堀内 秀明*

自社でもデータをビジネスに生かすべきと考えている経営者は多い。一方で、多くの企業がデータ活用に取り組みながらも、ビジネス成果を得ることに苦労している。本セッションでは、データ活用を推進する「人」に着目して、ガートナーが必須と考える役割について解説し、強化ポイントの見極めに関する提言を行う。

オープンシアター・セッション

Exhibit Showcase Hourで実施する20分間のショート・セッションです。

OT11

5月26日(火)

データ管理のマジック・クアドラント

シニア ディレクター, アナリスト アダム・ロンサール

オペレーショナル・データベース、データ統合、MDMに関し、マジック・クアドラントを用いて主要なトレンドを提示するとともに、それぞれの結果を解説する。

OT21

5月27日(水)

BIはどこから来てどこへ向かうのか

マネージング バイスプレジデント 堀内 秀明

BIという概念が提唱されて30年あまり、様々なツールやサービスが市場で提供され、今も進化を続けている。本セッションでは、BIツールのこれまでとこれからの進化の方向性を解説するとともに、現代的なBIのベストプラクティスの一部について紹介する。

OT22

5月27日(水)

アナリティクス・エコノミー：アナリティクスの価値を高める経済システム *ディレクター, アナリスト ジュリアン・サン*

アナリティクスは、それ自体が組織に価値をもたらすのではない。エコシステムでアナリティクス・モジュールを共有し、交換し、発展させる。そうした、アナリティクス・エコノミーこそが、アナリティクスの取り組みを成功させるのである。データとアナリティクスのリーダーは、アナリティクス・エコノミーを構築し、より多くの利用者 (Consumer) と作成者 (Producer) が関わりを持ち、アナリティクスを収益化できるようにしなくてはならない。

OT31

5月28日(木)

AIの倫理：最も基本的な5つのガイドライン *ディステイングイッシュト バイスプレジデント, アナリスト フランク・パウテンダイク*
世界中の企業がAIを倫理的に用いるためのガイドラインを公表しているが、その大半は5つの類似したテーマに言及している。本シアター・セッションでは、最も基本的な5つのガイドラインを紹介し、その根底にあるジレンマを解説する。

記載内容は2020年3月6日現在のものです。最新の情報はWebサイトをご覧ください。

セッション概要

2日目：5月27日(水)

21A

C

【朝食付】データの収益化：データのビジネス価値を示した業界事例

バイスプレジデント, アナリスト アラン・ダンカン

データの収益化がデータの「販売」ではなく、データの「価値」に関わることを、どうすればステークホルダーに納得してもらえるだろうか。データの収益化に向けた支援と資金を得られるよう、業界のユースケースを使って、コミュニケーションを図っているだろうか。本セッションでは、データの収益化に関する誤解を明らかにし、社内の効率化や新規売り上げにつながる機会を特定するとともに、業界共通の成功事例を示す。

21B

B

【朝食付】国内BI市場のトレンド解説

マネージングバイスプレジデント 堀内 秀明

本セッションでは、2019年11月に国内で実施した、BI利用に関するアンケート調査の結果を主に解説する。利用されているツール／サービスの変遷や国内企業へのBIツール／サービスの浸透状況、活用実体などに関する調査結果に基づいて、国内のBI利用企業に向けた提言も行う。

21C

D

【朝食付】ビジネスモデル・イノベーションのマインドセットを醸成する

バイスプレジデント, アナリスト 藤原 恒夫

新しいビジネスモデルをどのように革新するか。競合他社やディスラプター（破壊者）が採用しているのと同じデジタル・ビジネスモデルを模倣しても、勝利を収めることはできない。そうではなく、未開拓のビジネスモデルを探索する必要がある。シリコンバレーではこうした手法が功を奏する可能性があるが、よくある障壁として、誰もが失敗を恐れ、予算もリソースもなく、経営陣からのサポートを得られない場合はどうだろうか。

本セッションでは、ビジネスモデル・イノベーションのマインドを醸成するための実践的なロードマップを提示する。

23A

A

データ・サイエンスと機械学習の未来：無視するわけにいかない重大トレンド

バイスプレジデント, アナリスト スベトラーナ・シキユラー

拡張アナリティクス、MLOps、全社的なデータ・サイエンス・イニシアティブの管理とガバナンス、選ぶべきプラットフォームなど、機械学習とデータ・サイエンスの世界に影響を与える最新トレンドを概説するほか、誤解や複雑性、さらなる結果を期待できる組織となる方法について解説する。

23B

A

アナリティクス／BI、データ・サイエンス、MLのマジック・クアドラント

ディレクター, アナリスト ジュリアン・サン

アナリティクス／BI、データ・サイエンス、MLに関し、マジック・クアドラントを用いて主要なトレンドを提示するとともに、それぞれの結果を解説する。

23C

B

マルチクラウドやインタークラウドにおけるデータ管理 — 必然を受け入れる

シニアディレクター, アナリスト アダム・ロンサール

データ管理ソリューションのサポート環境としてマルチクラウドやインタークラウドの採用が増加していることは、データとアナリティクスの戦略に重要な意味を持つ。データとアナリティクスのリーダーは、今こそこうしたインパクトに備え、クラウドのリソースを最良の方法で使用する必要がある。

本セッションでは、新しいクラウド・エコシステムの効果的な活用方法と、選択およびそれに伴う複雑性の間にあるトレードオフについて解説する。

23D

A

【Ask the Expert】これからのアプリケーション・ソフトウェア契約をどう交渉すべきか

バイスプレジデント, アナリスト 海老名 剛

これからのアプリケーション・ソフトウェア契約をどう交渉すべきか。「ソフトウェア・メガベンダーとの契約に備える」(15C)の講演資料をベースに、ガートナーのアナリストが参加者と討議する。SaaSをはじめとするライセンス体系や価格設定メトリックの選択、それぞれの選択に応じた交渉ポイントなど、参加者の事情を勘案して具体的な解決策を探る。

(注：ご参加に際しましては、質問事項をご用意ください。なお、ご質問が多数の場合、全てにお答えできない場合もございますので予めご了承ください。)

【参加対象】ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方

26A

C

AIによる成果の実現に向けて、カルチャー・ハックによりIT部門とビジネス部門の溝を解消する

バイスプレジデント, アナリスト アラン・ダンカン

データはビジネスの言語になりつつあり、こうした変化によって、ビジネスとテクノロジーの協調関係が企業の成功に必須となっている。本セッションでは、ビジネスとテクノロジーのリーダーがAIを駆使してビジネス成果を挙げた事例やそこから得られたインサイト、さらには、カルチャー・ハックでIT部門とビジネス部門の溝を埋める実践的なアプローチを紹介する。

26B

E

大きく考え、小さく始める：マスタ・データ管理に備える

シニアディレクター, アナリスト サリー・パーカー

マスタ・データ管理 (MDM) への期待に応えるのは複雑でコストがかかる。これは、テクノロジーを用いたビジネス・イニシアティブであって、ソフトウェアのみでは対処できない。別のアプローチでMDMに対する期待を満たすことはできないか、またソリューションの規模は適切だろうか。本セッションでは、MDMを成功に導く上で欠かせない基本を解説し、利用可能な選択肢を比較し、データ／アナリティクスのリーダーが適切な意思決定を下せるよう支援する。

2日目：5月27日(水)

26C

E

定義の難しいデータやアナリティクスに対応するガバナンス・プラットフォームは売られていない

ディステイングイッシュトバイスプレジデント, アナリスト アンドリュー・ホワイ

本セッションでは、データとアナリティクスに向けたガバナンスを実現する能力と、それを支援するテクノロジーの市況について解説する。市場全体を見渡してみ、企業はテクノロジーをどう捉えるべきか、新たな市場は出現するか、出現するならば、どの領域においてなのかを解き明かす。

26D

C

CEOはなぜデジタルを推進するのか

バイスプレジデント, アドバイザリ 松本 良之

デジタル化への対応やデータ・ドリブンな経営は、もはやITの問題でなく経営課題である。デジタル・ジャイアントが投資家から支持され時価総額を伸ばす一方で、デジタルを経営戦略に取り入れていない企業の多くは成長戦略を描けずにいる。

本セッションでは、CIOやITリーダーを対象に、CEOがデジタル化を推進しなければならない理由と、デジタルに対応しない場合の経営者としてのリスクを解説する。

26E

A

【ラウンドテーブル】機械学習のための組織づくりにおけるベスト・プラクティスとは

バイスプレジデント, アナリスト スベトラーナ・シキユラー

機械学習を組織に導入する際の組織的な課題、プラットフォームの選定、AIガバナンス、最新テクノロジーの検討などの課題を前進させるための具体的なテクニックなどについて、ラウンドテーブル形式で幅広く話し合う。

【参加対象】ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方

28WS

C

【ワークショップ】データを成果に結び付けるには

ディステイングイッシュトバイスプレジデント, アナリス アンドリュー・ホワイ

本ワークショップでは、ビジネス・システムで記録されるデータから読み解いた因果関係を、ビジネス成果へと結び付けるツールキットを紹介する。本ワークショップの内容を参考にしたり、ツールキットを利用したりすることによって、データ、アナリティクス、およびそれらのガバナンスと、ビジネス・プロセス／意思決定／成果の間はどういったつながりが存在するのか、示せるようになる。

- データを成果に結び付ける必要性と課題
- ビジネス・バリュー・ピラミッドを用いてデータを成果に結び付ける方法
- データから得られるビジネス上の価値を、すぐに証明する方法

【参加対象】ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方

28A

A

拡張データ・サイエンス／機械学習を実装する：4つの実例

シニアディレクター, アナリスト カーリー・アイディーン

拡張データ・サイエンスは、市民データ・サイエンティストがデータ・サイエンスや機械学習を利用できるようにするだけではなく、専門的なデータ・サイエンティストの効率も高める。本セッションでは、拡張データ・サイエンスがビジネスに目に見える効果をもたらした事例を通して、拡張DSMLの活用法を紹介する。

詳しくは gartner-em.jp/data/ または 03-6430-1810 まで

28B

B

データとアナリティクスの未来はクラウドにあり

シニアディレクター, アナリスト アダム・ロンサール

データとアナリティクスの新たなプラットフォームはクラウドであり、クラウド・サービス・プロバイダーや独立系ソフトウェア・ベンダーは、クラウドをベースとする新しいエコシステムの基盤を提供している。本セッションでは、データとアナリティクスのプラットフォームの現状(データ管理、BI / アナリティクス / データ・サイエンス、データとアナリティクスのガバナンス)、クラウドへの移行とその影響のほか、クラウド(それも複数の)を使いこなす意味を解説する。

28C

E

データとアナリティクスのガバナンスにまつわる基礎と未来

ディステイングイッシュトバイスプレジデント, アナリスト テッド・フリードマン

従来型のデータとアナリティクスのガバナンスは、ポリシー、コンプライアンス、エンフォースメント(法制／ルールの実効性の確保)に注力しており、今日のデジタル・ビジネスにとって時代遅れになっている。デジタル・ビジネスの取り組みを成功させるための急務は、ビジネスの状況に応じて自在に伸縮できる適応型のガバナンスの採用である。

28D

D

データ・アナリティクスからデジタル・イノベーションをリードする — 南アフリカの事例を踏まえて

バイスプレジデント, アナリスト 藤原 恒夫

デジタル・アクセスには根深い社会的格差があるにもかかわらず、ケープタウン市のCIOは、データを使って市民に働き掛け、深刻な水危機を解決するという革新的な手法を実現した。CIOは、市民の行動を変えるためにデータを利用して大きな影響を及ぼすことができ、危機と変革の時期において中心的な役割を果たすことがある。

セッション概要

3日目：5月28日(木)

31A

B

【朝食付】データとアナリティクスでアプリケーション機能を強化せよ

シニア プリンシパル, アナリスト 一志 達也

アプリケーションを通じてデータが入力され、データベースなどに蓄積され、必要に応じて画面や帳票に出力される。これからのアプリケーションは、蓄積されたデータとアプリケーション外から入手できるデータをアナリティクスによって分析して、その機能を強化することが求められるようになる。

本セッションでは、データとアナリティクスによるアプリケーションの機能強化とはどういったものか、その注意点は何かを紹介する。

31B

A

【朝食付】AIのリーダー、データ・サイエンティスト、機械学習エンジニアのためのストーリーテリング

バイスプレジデント, アナリスト スパトラーナ・シキュラー

プロジェクトの承認を得ることや最終的なビジネスへの実装に、ストーリーテリングがどのように役立つのであろうか。本セッションでは、以下の3つのトピックについて、データ・サイエンスにおけるストーリーテリングの4つの基本パターンを解説する。

- 適切な危機感を生み出すには
- AI / データ・サイエンス・プロジェクトのROIを正当化するには
- プロトタイプをどのように作成するか

31C

B

【朝食付】データ管理に向けたブロックチェーン：「未成熟なデータベース」を使いこなすには

バイスプレジデント, アナリスト 鈴木 雅喜

データ履歴を保持しながら信頼性のあるやりとりを行えるブロックチェーンの特性は、今後のデータ管理の進め方を大きく変える可能性がある。ブロックチェーン技術の成熟度はまだ低いが、この革新的な機会を見逃ごしてはならない。

本セッションでは、ブロックチェーンとこれまでのデータベースを比較しながら、データ活用とアナリティクスのリーダーがなすべきことについて述べる。

33A

D

効果的なデータ／アナリティクスのオペレーション・モデルの基礎

ディステイングイッシュト バイスプレジデント, アナリスト フランク・パウテンダイク

本セッションでは、効果的なデータ／アナリティクスのオペレーション・モデルの基礎を詳しく解説する。

33B

E

制御しようとするな：昔ながらのデータ管理の限界を打ち破る方法

ディステイングイッシュト バイスプレジデント, アナリスト テッド・フリードマン

データがますます分散し、常時変化し、多数が関わるようになった今、データを制御しようとしても不可能である。とはいえ、データ管理を構造化し、標準化し、技術的に頼らないようにしようとも、本質的な価値は得られない。そこで、以下のような視点を持って、データを管理することを検討したい。

- データを正確に管理しようとしても無駄となる理由
- データの無秩序性を受け入れることで、価値を増やす方法
- データが混沌とする中で「安全」であるために必要となる具体的なアクション

14

33C

E

データ・ハブ戦略を採用して、データ／アナリティクスのガバナンスと統合を一元化する

ディステイングイッシュト バイスプレジデント, アナリスト アンドリュウ・ホワイト

企業は、データとアナリティクスのガバナンスや統合にサイロ化されたアプローチを用いることで必要以上に複雑化させ、混乱している（大半はベンダーが原因であることが多い）。しかし、効果的なデータ・ハブ戦略は、複雑ではない。本セッションでは、以下について解説する。

- データ・ハブとは何か。また、これがデータウェアハウスやデータ・レイクと異なる理由とは
- データ・ハブ戦略とは何か。この戦略は組織にどのように価値を付加するか
- データ・ハブ戦略に向けた極めて重要な第一歩とは

33D

A

クラウドを使ってアナリティクスの均衡点を見つけよ

ディレクター, アナリスト ジュリアン・サン

本セッションでは、データとアナリティクスのリーダーに対し、クラウドを活用してアナリティクスの潜在力を発揮させるための手引きを示す。既存のアーキテクチャにクラウド・アナリティクスを融合させる計画は、どの領域で、なぜ、どのように立てるべきだろうか。モード1とモード2の間でアナリティクスを「衝突」させることのメリットを享受し、アナリティクス力を計画的に再利用するにはどうすればよいかを解説する。

33E

A

【Ask the Expert】「個」の能力の獲得に向けて、新たなソーシング・オプションを活用できるか

プリンシパル, アナリスト 中尾 晃政

「個」の能力を細分化して提供するスキル・シェアリングやクラウドソーシングが台頭している。

本セッションでは、「『個』の能力の獲得：新たなソーシング・オプションの可能性」の講演資料をベースにガートナーのアナリストが参加者と討議し、デジタル・トランスフォーメーションの推進におけるこうしたサービスの具体的な活用例を交えながら、今後の活用可能性を探っていく。

(注：ご参加に際しましては、質問事項をご用意ください。なお、ご質問が多数の場合、全てにお答えできない場合もございますので予めご了承ください。)

【参加対象】ユーザー企業、ユーザー企業の情報子会社の方

35A

A

未来のアナリティクスとBI：

Augmented Consumer (強化された顧客) とは

ディレクター, アナリスト ジュリアン・サン

アナリティクスとBIのプラットフォームの焦点は、分析担当者の支援からコンシューマーの強化へと、急速にシフトしている。この原動力となっているのは、コンシューマー・エクスペリエンスや対話型のエクスペリエンス、あるいは拡張アナリティクスなどが持つ力の融合である。拡張アナリティクスは、AIなどの活用によって、データの前処理、有益な情報の創出や共有、データ・サイエンス／機械学習モデルの作成および実装の方法に変革をもたらす破壊的なトレンドである。

本セッションでは、こうした市場の破壊的なトレンドに備え、これを活用する方法を解説する。

3日目：5月28日(木)

35B

E

個人情報保護を巡る新たな局面：企業はいかに対応すべきか

シニア ディレクター, アナリスト 磯田 優一

データ活用が進む中、保護との「両立」が叫ばれているが、そのためにはどうすればよいか。2020年には個人情報保護法の改正も予定されており、企業がここで対応を誤ると、法的制裁や信用失墜につながる可能性や、ビジネスの継続すら困難になる可能性が生じる。本セッションでは、企業が注視すべきプライバシー・リスクの動向およびポイントについて解説する。(注：本セッションは法的問題に関連するディスカッションを含む場合があるが、ガートナーは法的アドバイスやサービスを提供しない。ガートナーのリサーチあるいはガイダンスは、参考にはできずとも、そうした法的な意図で解釈あるいは使用することはできない。法的問題に関しては、法律の専門家からのアドバイスを受け、企業側で判断する必要がある。)

35C

C

インフォニクスを適用してビジネス価値を向上させる

バイスプレジデント, アナリスト アラン・ダンカン

伝統的な資産の管理と比べると情報資産の管理は誤っていると、大半のエグゼクティブは深く認める。本セッションでは、データとアナリティクスのリーダーが情報資産の真のビジネス価値を解き放つのに役立つ、インフォニクスの基本原則とプラクティスについて、以下のトピックに沿って解説する。

- 情報資産の潜在的な価値と実際の価値をどのように測定するか
- 情報資産の質、利用可能性、見つけやすさ、実用性をどのように改善するか
- よりデータ・ドリブンな組織になるためのイノベーション機会をどのように特定するか

35D

A

データ管理インフラストラクチャの将来を担うクラウド

シニア プリンシパル, アナリスト 一志 達也

あらゆる組織にとってデータは既に重要な資産であり、組織の内外にわたるデータを不自由なく利用できる環境を整備することが求められている。

そうした中、データ管理市場は、さまざまなテクノロジーの変化に伴ってクラウドへと急速にシフトしている。クラウドとdbPaaSが現実的な選択肢となり、オープンソースの普及と相まって、これまでとは異なる価格モデルへの切り替えも急務となっている。

本セッションでは、既存のテクノロジーがどのような変化を遂げており、こうした変革をサポートするためにどのような新しいテクノロジーが登場しているのかに加えて、ベンダー各社がクラウドへのシフトに対応するために何をしており、市場が今後どのように進化するのかについて論じる。

CDOC3

【CDOCラウンドテーブル】7つのデジタル・CDOサークルリーダーシップ・スキルを日本でどう実践するのか

バイスプレジデント, アナリスト 藤原 恒夫

本セッションでは、デジタル・トランスフォーメーションやデジタル・イノベーションの推進においてCIOが注力すべき、ガートナーが推奨する7つのデジタル・リーダーシップ・スキルとは何であり、どのようにこれらのスキルを獲得し、日本の組織においてどう実践するのかについて、質疑応答形式で協議する。

【参加対象】CDOサークルメンバー
(参加できるCDOCラウンドテーブルは、原則お一人様1セッションになります。)

詳しくは gartner-em.jp/data/ または 03-6430-1810 まで

37A

A

拡張アナリティクスとMLOps：来るべき課題と機会

シニア ディレクター, アナリスト カーリー・アイディーン

本セッションでは、データ・サイエンスにまつわる2大トレンドと、両者の相関性について解説する。拡張アナリティクスによって、モデルの量は加速度的に増え、組織の至る所で機械学習が利用されている。しかし、データ・サイエンス・プロフェッショナルの能力を強化できる興味深い機会が生まれていると同時に、機械学習の継続的な運用化という面では課題も生じている。そこで、以下について説明する。

- 拡張アナリティクスへの投資意欲とMLOpsへの要求をうまく両立させるには
- 関与する多様なツールや人材をどのように連携させるか
- 拡張アナリティクスの成功像とは。また、注意すべき盲点とは

37B

A

マスタ・データ管理をクラウド化するタイミングは、今なのか

シニア ディレクター, アナリスト サリー・パーカー

ソフトウェア市場の大部分はクラウドへと突き進んでいるが、マスタ・データ管理 (MDM) は動きがあまりに遅く、この波に乗れていない。ベンダーの製品やサービスはオンプレミス、ハイブリッド、クラウドに分散されたままである。クラウド・ベースのMDM戦略にコミットする適切なタイミングはいつであろうか。

本セッションでは、MDMクラウドの全体像のほか、MDM戦略におけるオプションのメリットとデメリットを解説する。

37C

A

「個」の能力の獲得：新たなソーシング・オプションの可能性

プリンシパル, アナリスト 中尾 晃政

デジタル・トランスフォーメーションでは、さまざまな知見によるアイデアの創出や先端テクノロジーの活用のほか、データ・サイエンスの推進などにおいて、専門的な「個」の能力が求められる機会が増えている。本セッションでは、こうした「個」の能力を、細分化して提供するスキル・シェアリングやクラウドソーシングといった新たなソーシング・オプションとして捉え、その活用メリットと注意点を探っていく。

37D

A

CIOが全社のデジタル啓発活動を推進する方法

バイスプレジデント, アドバイザリ 松本 良之

デジタル・トランスフォーメーションやデータ・ドリブン経営を進めようとしても、デジタルに関する社内の理解力や能力が不足していると、歩みが止まってしまう。全社員のデジタルへの意識を変えるために、CIOは具体的なアクションを起こす必要がある。本セッションでは、研修やイベントの開催によりデジタル啓発を推進した代表的な事例を解説する。

GU4

パネルディスカッション：近日公開

パネリスト数名／モデレーター：一志 達也(ガートナー)

*最新の情報はWebサイトをご覧ください。